

【Vanganth】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

自由に飛翔する空を“飛ぶもの”。飛翔者の神。雷鳴の兄弟の一柱。

■ 概略

雷鳴の兄弟の中では最良にして最速、そして最も遠くまで空駆けられる飛翔の神で、よく羊やアリンクス、鷹に姿を変えて空を飛んだと言われている。そして神々がするように空を飛ぶ方法を人間に教えた。

ヴァンガンスは守り手の盾として、武器を持たない姿で描写される。

オーランスのカルトとしてはひどく特殊なカルトであり、その信者の数は絶対的に少ない。

■ 異界

火打石の尾根にヴァンガンスの巣がある。

組織

■ 相、カルト

冒険者オーランスの下位カルト。

業績

- ・津波との二度目の戦い」で潮の進行方向を変えた

参考文献

- ・『Thunder Rebel』 p.216-217、 227